

# VIVIENNE WESTWOOD

ヴィヴィアン・ウエストウッド自伝 ヴィヴィアン・ウエストウッド、イアン・ケリー



Vivienne Westwood  
ヴィヴィアン・ウエストウッド

たのが印象的。

●惹かれる装い、佇まい  
地味だけど質素ではなく、どこでも通用するジャケットやスーツを愛用し、場所によってはジャンパーなども。常にその場に沿うスタイルを心掛ける着こなしでした。正統派のパールを基本としたブルジョアスタイルがともにお似合いです。彼女の人生を象徴する上品さと清楚さを感じさせます。大きな色石使いも見ますが、まったく嫌味ではない。むしろコンサパティブな品格を感じます。

●いまなお「アイコン」であり続ける理由  
名声や名誉を求めるのではなく、熱意と誠実さで難民支援に取り組み、世界の最強といわれたNATO軍まで動かした説得力。スイスの市井の人たちまでが誇りに思うほどの偉業と気品は努力しても得られないもの。活動的になった女性たちのアイコン的存在だと思います。

## 中野香織

著述家・服飾史家



昭和女子大学客員教授。  
『「イノベーター」で読むアパレル全史』(日本実業出版社)、『ロイヤルスタイル 英国王室ファッション史』(吉川弘文館)ほか著書多数。連載9本進行中のほか、企業のアドバイザーを務める。

●私の「アイコン」

ヴィヴィアン・ウエストウッド  
(ファッションデザイナー)

●注目したきっかけ

1980年代ごろにファッション史の勉強を始めたころ、ファッションによって社会への抵抗を表現し続けているおそろしくパワフルなイギリス女性ヴィヴィアンを知り、興味を惹かれたのがきっかけ。その後、ドキュメンタリー映画やテレビ番組などをフォローし、美しい服を作る礼儀正しいデザイナーである一方、間違ったことに対しては率直に言うべきことを語る大胆できつぷのいい態度に魅了されています。2017年のロンドンコレクションでは間近にショーで、パフォーマンズする姿を拝見。小柄なのにパワフルなオーラで会場をひとつにまとめ上げる「気」を発して、いました。

●彼女の魅力

間違ったこと(環境破壊、人権無視、人を過剰消費に駆り立てるプロパガンダなど)に対してはきちんと声をあげ、あらゆるかたちで抗議し続けていること。シエルガス開発反対を表明したときは、戦車に乗ってキャメロン首相の地元選挙区に向かい、抗議していました(2015年)。そうすればニュースになり、こへ

の問題に対する世界の耳目を集められると知っての行動です。かつこよすぎる。並大抵のエネルギーではありません。

●印象的な作品や本、金言

「私がファッションデザイナーを続ける唯一の理由は、(みんな一緒に安心)というのをぶち壊すためよ」という言葉。ほかにも「ヴィヴィアン・ウエストウッド最強のエレガンス」というドキュメンタリー映画はおすすめです。

●惹かれる装い、佇まい

パンクスタイルの元祖なので、破壊されたりつなぎ目が不安定だったりする作品もあり(本人も着たりして)ますが、それは、既成のものをやすやすと受け入れるなというメッセージ。お仕着せのものを破壊して、新しいものを自分で創れ。壊して自分で創る。これが本当の彼女のメッセージです。きれいなファッションも、オリジナリティがあります。既成の常識のどこかを破壊し、オリジナリティを加えて新しいものとして創り上げる。この姿勢にいつもハッとさせられます。

●いまなお「アイコン」であり続ける理由  
1970年代にデビューして、2020年代なお現役。常にフレッシュな活動で時代のニュースになり続けている。これは大変なことです。過去の自分の栄光に固執せず、いつも目の前の時代に真摯に向き合って、世の中の「常識」には流さ

## Naomi Watanabe

渡辺直美

〈左〉世界を舞台に活躍する渡辺直美。“エンターテインメント”を実直に突き詰める女性です。〈下〉最も成功したといわれるアーティスト、マドンナ。1980年代のトレンドセッターで、レザージャケットは象徴的なアイテム。



©YOSHIMOTO KOGYO CO.LTD.

れず、自分に率直に「破壊と創造」を続けているヴィヴィアンの生き方は、インスピレーションの尽きぬ泉です。

●もうひとりの「アイコン」

## 渡辺直美

(お笑い芸人)

●注目したきっかけ

最初に知ったのは、ビヨンセの物真似。そのときは物真似の上手な芸人だと感心していた程度ですが、その後、東京ガールズコレクションやモード誌のシューティングで、プロのモデルの美しさを吹き飛ばして視線を一身に集めてしまう圧倒的な自信と迫力に完全に魅了されました。

●彼女の魅力

コンプレックスをもたず、ありのままの自分を誇りに思い、堂々と自信をもって愛嬌をふりまいていること。同時にそんな自分自身を客観視して魅力的に演出するプロフェッショナルなサービス精神。さらに、ニューヨークへ進出するなど自分の限界をどんどん超えていく行動力。

●印象的な作品や本、金言

「ほんのちよっとの勇氣と怒りが自分の殻を破ったんです」というひと言。

●惹かれる装い、佇まい

獨創性。楽しさ。規格や常識を軽々と飛び越えてくる大胆さ。

●いまなお「アイコン」であり続ける理由

誰が作ったかわからない暗黙の美の基準みたいな狭い枠を軽々と吹き飛ばし、

新しい光景を見せてくれる。人間の無限の可能性を楽しく軽やかに見せてくれる彼女は、新しい時代の希望の光です。

## SAWA

モデル



国内外のモード誌、世界各地のコレクションで活躍。現在は子育てをしながら「TCS認定コーチ」「MCS認定マザーズティーチャー」の資格を取得。自身の経歴や知識をもってライフスタイルコーチとして活動をしている。

●私の「アイコン」

## マドンナ

(歌手)

●注目したきっかけ

中学生のころ、「Frozen」「Open Your Heart」のミュージックビデオを見て。

●彼女の魅力

ファッション、表現力、彼女がもつ世界観、常に自分らしくある姿勢。注視すべきポイント、眼。彼女の眼はチャーミングな面、女性らしさ、強さ、優しさのすべてを表現している。

●印象的な作品や本、金言

「Vogue」「Like A Prayer」のミュージックビデオ。

●惹かれる装い、佇まい

時代に合った流行を取り入れ、かつどのようなファッションであれ、自分らしく表現している。

## Madonna

マドンナ



©GETTY IMAGES

## Kazuko Watanabe

渡辺和子

